第 305 号　米原区自治会　兼箇段 1561-1　TEL：973-3431

令和６年
（2024 年）
３月

ゆりー

米原区の人口及び世帯数

令和６年２月末現在
戸数　1,140 世帯
人口　2,742 人
男 1,353 人　女 1,389 人

市長との約束履行について

昨年の3月、中村市長との意見交換会で米原区が要請した事項の進捗状況を確認したので、次のとおり報告します。

〇区内7班のメイン道路への信号機の設置、5班の交差点での右折用レーンの確保と同班でのハンプの設置について

●信号機の設置については、ハード交付金の充当率が厳しくなっているため、事業期間が延長されることも有り得る。右折用レーンの確保も同様の事が懸念される。(同レーンについては、暫定的に道路の一部が拡幅されたため、車両の通行が以前よりスムーズになった)。ハンプは、今年の7月頃に設置する。

〇具志川中学校正門近くの一方通行(下り坂)に役50mの道路側溝等を新設し、既設の側溝に連結する件

●令和6年度に実施する。

〇どんぐり公園の安全柵の修理と急傾斜地の除草作業の実施について

●安全柵は以前より頑丈なものに取り換えられたため、取り外されることがなくなった。斜面の草刈り作業については、年に一度、市の契約業者が実施する。今年度は、昨年の12月に刈り取り作業が行われた。

・区の行事予定・・

３月
５日（火）ミニ・デイサービス
８日（金）審議委員会
21 日（木）千尋会定例会

４月
２日（火）ミニ・デイサービス
12 日（金）審議委員会
18 日（木）千尋会定例会

今月の徴収金

区　費	1,000
防犯灯負担金	150
合計	1,150 円

※区費の納入よろしくお願いします。

ありがとうございます

・３班の福地心一様（浄福寺）より、飲み物の寄贈がございました。

ようこそ米原へ

１班-2　知花マイキご家族様

千尋会便り

千尋会では１１月にグラウンドゴルフ大会、１２月にバスツアー、１月に新年会を行いました。参加・協力頂いた皆さん、ありがとうございました。

また、６月の総会では、ご指摘、ご意見も頂きました。

これらのことも踏まえて、次年度も楽しく、明るい千尋会にしたいと思いますので、引き続き千尋会への参加、協力をお願いします。

千尋会会長　石川清勝

Wi-Fi 設置について

市より「自治公民館 Wi-Fi 整備事業補助金」の交付を受け、米原公民館に Wi-Fi を設置しました。

【目的】

公民館に Wi-Fi を整備し公民館のデジタル化を促進し、インターネットを活用したオンライン会議等を実施できる環境を整備することにより、新たな地域活動・自治会活動の活性化につなげる。また、インターネット環境の無い家庭の児童・生徒が、公民館に設置されている Wi-Fi 環境を活用し勉強することで、学力の向上に寄与することができる。

二月の審議委員会の審議事項(二月九日(金)開催)

・オープンガーデンについて

赤道区の副区長(池原栄子さん)の発案に賛同した旧具志川市地区の14の自治会が、2月11日～18日までの間オープンガーデンを開催する。これは、県の「緑の募金」の補助を受け、緑化推進事業の活性化を目的としたイベントである。

湧川富達さん、伊禮英次さん、和宇慶朝一さん、和宇慶強さんらがブロック積みなどのインフラ整備、コンクリートプランターの移動、ペンキ塗り、草刈り・芝刈りなどを担当する傍ら、金城美江子さん、祝嶺ヨシ子さんら女性陣はアイデアを凝らした花植え・飾り付けなどを頑張ってくれました。

また、伊禮英次さんは敷地内に植わっているガジュマルとタラサー(ホルトノキ)の枝を刈り込んで、「鶴」と「亀」を見事に形成してくれました。謝謝。向き合う形でたたずむ鶴と亀に、ほとんどの訪問客が感激。その長寿にあやかろうと記念写真に収まっていました。ご両人で一万一千年!!長寿のパワースポットができ上がりました。(米原の新名所として「ナニコレ珍百景」に登録してもらえるかも。)

どうーちゅいむに―

ゴルフ場跡に陸自訓練施設を計画
―打目からOBです
―反対派一同
防衛省殿

青のユニフォームで初ホームラン
青くなったのは我われの方だ
―ホワイトソックス監督
ドジャース大谷翔平殿

県内、雨不足続く
新基地建設の「見返りアメ」はいかが？
―日本政府
沖縄県民各位

フラワーオープンガーデン　2024

・来館者数307名

・米原区民の参観は少なかったですヨ～（寂しい～！）

県立中部病院の建て替え問題

沖縄県立中部病院は、高度医療を提供する中核病院、基幹病院として「救急救命センター」、「へき地医療支援病院」、「災害拠点病院」、「臨床研修病院」など多くの使命を担った最も重要な病院であることは論を俟ちません。その中部病院が、建物の老朽化や狭さなどを理由に建て替えが検討されています。

関係機関や有識者らからなる「県立中部病院将来構想検討委員会」で同病院の建て替えを議論。県は早期建て替えを目指して、用地取得費用がかからない現在地での建て替え計画の方が、整備費用や工期を短縮できるとしています。一方で、うるま市の中村市長は現在の敷地内ではなく市内の別の場所に移転整備することが望ましいとの考えを示しています。現在地での建て替えは、工事からの騒音や粉じんなどが、患者への医療サービスの低下や医療環境の悪化などの問題点を惹起すると訴えています。

また、高度医療を提供する同病院では、水道設備、機械設備等のいわゆるインフラ施設の老朽化、更に、ベッド数、職員の増加や医療機能の向上に対し十分な面積がなく、よって、狭隘化が進むこのような状況下、現在地での増改築工事を推進すれば、今の医療レベルを維持する事さえ困難になると現場の医師達は非常に懸念しております。

更に同病院は、「研修教育病院」としての機能も有しており、全国からその目的のために多くの研修医が集結してきました。しかしながら、進む老朽化、狭隘化に加え、委員会では検証されないその他のマイナス要因等のため、その魅力が次第に削がれてきている状況にあるようです。

建て替えに関し、現場の医師たちは、次の事柄を考慮に入れて検討すべきだと訴えています。①地区医師会等や住民へ説明しながら進める事、②研修教育病院としての機能を強化させる事、③建築工程で医療提供能力を低下させない事。

県の考える現在地での建て替えが妥当か、医療現場からの声を尊重し、市内の別の場所への移転整備を是とするか、一人一人が考えて欲しいものです。

～へー、そうだったのか！（パート６９）～
―こんなモアイがあってもいいんじゃない？―

「弥生、３月」このしっとりとした言葉の響きは以前から気に入っている。「弥生」とは、「草木がいよいよ生い茂る月」を意味する由。

３月と云えば、様々なことが終わる月でもある。学校の卒業や人事異動などにより一つの終わりが次の始まりにつながる。４月にむけて舫（もやい）を解き新たな航海に出ることになる。「舫う（もやう）」とは、船と船、又は船と岸をつなぎ留めることを意味するが、その語感から「模合」を連想する。寄り合って共同で事を行うことだ。

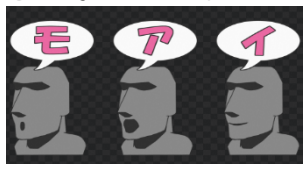
模合は「相互扶助」と「親睦」などが掛け合わされており、親族、職場、学生時代からの友人模合などがあり、人間関係をはかるバロメーターにもなる。特に、気の置けないドゥシグヮーとの模合は、家族を残し前髪を引かれる思いで居酒屋に駆け付けるのである。

そんな模合にあって他の模合とは明らかに一線を画す、３班の浄福寺の福地心一住職の模合の有り様を紹介したい。

社会人になって知り合った10人での模合。毎月一回、居酒屋に集合する。建築屋、電気屋、看板屋そしてファーマーなど青年会議所で知り合った仲間だ。40歳を過ぎ引き続き親交を続ける中、困っている人たちのために寄付をしたいとの思いから模合をスタートしたそうで、心一さんは７～８年ほど前から参加しているそうだ。

月に５万円を積み立て、母子家庭、貧困家庭、少年院などに寄付をする傍ら自然災害などの被災地にも義援金を届けたりする、ＴＡＫＥなしの完全ＧＩＶＥの模合だが、その結果、徳を積むことにつながっていると思う。

素晴らしい思いつきだ。こんなモアイがあってもいいとイースター島の石像は思うかも知れない。



～へー、そうだったのか！～